

# 拙著 早わかりベクトル解析の補足および誤植訂正

文責 著者 澤野嘉宏

March 11, 2016

## 1 補足

原典の該当箇所を一番上に書き，原則的に (a) 欄は誤植の部分，(b) 欄は訂正方法，(c) は報告日を示しています．複数の報告日がある場合は訂正内容をさらに訂正しています．修正箇所が大きすぎる場合は，別証明に証明を移動しています．

1. (a) ?  
(b) ?  
(c) 新しく出来次第

## 2 追加，訂正

原典の該当箇所を一番上に書き，原則的に (a) 欄は誤植の部分，(b) 欄は訂正方法，(c) は報告日を示しています．複数の報告日がある場合は訂正内容をさらに訂正しています．

1. 9 ページ 5 行目
  - (a) 符合しているかを
  - (b) 符合しているのを
  - (c) 2 0 1 5 年 1 月 1 日
2. 1 1 ページ 5 行目
  - (a)  $(x, y)$  と実数の対で，
  - (b)  $(x, y) \in [a, b] \times [c, d]$
  - (c) 2 0 1 5 年 1 月 1 日
3. 1 4 ページ 5 行目
  - (a) 「かど」のある図形は
  - (b) 「かど」のある図形には

- (c) 2015年1月1日
4. 17ページ 下から6行目
- (a) と近似  
(b) で近似  
(c) 2015年1月1日
5. 20ページ 下から7行目
- (a) すべて  
(b) 【削除】  
(c) 2015年1月1日
6. 53ページ 下から3行目
- (a) 外積である.  
(b) 外積の半分である.  
(c) 2015年1月1日
7. 56ページ 1行目
- (a)  $x, t \in [0, 1]$   
(b)  $x \in [0, 2], t \in [0, 1]$   
(c) 2015年1月1日
8. 56ページ 6行目
- (a)  $\sigma = \iint_{[0,1]^2} \sqrt{x^4 + x^2} dx = \int_0^1 x \sqrt{1 + x^2} dx = \frac{2\sqrt{2} - 1}{3}$   
(b)  $\sigma = \iint_{[0,2] \times [0,1]} \sqrt{x^4 + x^2} dx dt = \int_0^2 x \sqrt{1 + x^2} dx = \frac{5\sqrt{5} - 1}{3}$   
(c) 2015年1月1日
9. 56ページ 下から12行目
- (a) 面積の近似は  
(b) 面積の近似の半分は  
(c) 2015年1月1日
10. 88ページ 上から5行目
- (a)  $\vec{f}(x, y, z)$   
(b)  $\text{rot}(\vec{f})(x, y, z)$   
(c) 2015年1月1日

11. 1 7 9 ページ 上から 9 行目

(a)  $U \cap V = \mathbb{R}^2 \setminus Y$

(b)  $U \cap V = Y$

(c) 2 0 1 5 年 1 月 1 日

12. 1 7 9 ページ 下から 4 行目

(a)  $\mathbb{R}^2 \setminus \left\{ \frac{g}{2}, z' \right\}$

(b)  $\mathbb{R}^2 \setminus \{z'\}$

(c) 2 0 1 5 年 1 月 1 日